

186 難題婿（二つの馬に鞍一つ）

昔ぬ話^{んかしはなし}やし、勝連按司^{かつちんあじ}ぬや、娘^{めなぐんくわ}子^こぬ、婿^{むく}かめゆんちやし、やしがあまなかいまた、物知^{むめし}りおばーがめんせーくとう、うぬ娘^{めなぐんくわ}子^こやや、馬^{うまた}二^にちんかい鞍^{くつてい}一^いち掛^かきてい来^{ちゆー}しんかい、娘^{めなぐんくわ}子^こくいゆんち、おばーさんが言^いんそーちえーんてー。

あんさくとう、くまぬ、武士^{ぶし}えー、いつペー考^{かん}げーてーるふーじ。

ある物知^{むめし}りから、あんしやらー、妊娠^{かまぎんま}馬^{うまた}んかい鞍^{くつてい}一^いち乗^めしていきーねー、二^たちないくとう、あんししんでいい言^いやーに、娘^{めなぐんくわ}子^こ貰^いてい来^ちやんでいぬ話^{はなし}やんどー。

昔の話だが、勝連按司が、娘の婿を選ぼうとしていたが、だがむこうにはまた、物知りのお婆さんがいるので、この娘は、馬二つに鞍を一つ掛けて来る人に娘を上げようと、お婆さんがおっしゃったそうだよ。

すると、この、娘の婿になりたい侍は、とつても考えたそうだよ。

それである物知りから、そうなら、妊娠した馬に鞍を一つ乗せると、二つになるから、そうしなさいと言って、そして娘を貰って来たという話だよ。

字小波藏 伊敷フデ子